

## IV めぐるシティカレッジ

### 1 新しい学習機会の創設

区民の学習活動のニーズが多様化する中で、都立大学が目黒区から八王子市に移転したのを契機に、区民に新たな学習機会を提供できるシステムを構築していこうと、目黒区、都立大学、都立大学附属高校、東京都教育庁の四者が協力して、区民向けの講座「めぐるシティカレッジ」を平成7年に開設しました。

「めぐるシティカレッジ」は、区民の自発的学習意欲に基づく自己実現を支援するための新しい学習機会を提供しようとするものです。単位や資格の取得を目的とするのではなく、生涯学習社会形成の一翼として区民の学習ニーズに対応する、質の高い学習の提供を目指しています。各分野の研究者を講師に招き、学ぶ意欲にあふれた受講生により、都立桜修館中等教育学校を主会場に毎回熱気にあふれた講座が展開されています。

(開設年度：平成7年度)

### 2 運営

現在は、任意団体「めぐるシティカレッジ振興会」が運営にあたり、目黒区教育委員会事務局に事務局を置いています。

### 3 講座内容

#### 令和2年度実施

次の通り、講座を企画し、募集を実施しましたが、160名の応募があったものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全講座を中止しました。代わりにカリキュラム委員によるエッセイを、合計7回受講生に送付し、感想を募るという形式としました。

(単位：人)

講座	主な内容等	定員	応募者数	受講者数
1 目黒学パート26 -史料が語る世界を 現在の資料と結び付 けて、今を知る -	「目黒」に焦点を当て、7月までは近世の史料や碑を読み解く力の会得を目指しつつ、史料にあたる。9月以降は現代の様々な数値に目を向け、今日の姿を浮彫りにしていく。 令和2年4月～令和3年1月(全15回)	50	20	—
2 言葉って、楽しい、 そして深く、重い	言語学、民俗学、地理学、経済学など多様な学問的知見を背景に、言葉(文字・話し言葉・名言・箴言・討論など)の面白さ、深さ、そして重みにアプローチする。 令和2年4月～令和3年1月(全15回)	50	27	—
3 シンボル・しるし・ 紋様の世界を探る	人類史を通じて培われてきたシンボル(象徴)の世界—しるし・紋様・マークーを通して、それぞれの文化や地域を特徴づけ、支えてきた、その奥深い世界を探っていく。 令和2年4月～令和3年1月(全15回)	50	42	—
4 見て回る 江戸・東京	東京都内を対象地域とし、江戸時代以降の歴史的・地理的な事象と背景を学習した上で、実際に現地にてフィールドワークを実施し、その学びを更に深めていく。 令和2年4月～令和3年1月(全15回)	50	71	—
計		200	160	—